

## \* 今後の活動スケジュール (予定) \*

今後は、創出用地地区勉強会の最終成果として、平成 29 年度末に「創出用地まちづくり構想 (案)」のとりまとめを目指す予定です。

回	時期	主な議題 (案)
-	H29. 5 頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発協議会総会</li> <li>・ 平成 28 年度の創出用地地区勉強会の活動経過及び「創出用地まちづくり構想〔中間まとめ (案)〕」を報告</li> </ul>
1	H29. 夏頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 勉強会 平成 29 年度第 1 回</li> <li>・ 平成 29 年度の活動スケジュールと検討内容について</li> <li>・ 創出用地まちづくり構想 (案) の全体コンセプト案</li> </ul>
		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">                     創出用地まちづくり構想 (案) まとめ                 </div>		

※各回の開催時期・テーマ等は、今後変更の可能性もあります。

----- キリトリ線 -----

高砂地区のまちづくりや創出用地地区勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュースを讀んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----



お名前：  
お電話番号：  
FAX：



高砂地区開発協議会事務局  
葛飾区役所 高砂地域整備担当  
電話： 03-5654-8344  
FAX： 03-3697-1660

住みよい高砂・団地周辺のまちづくり

# 創出用地地区勉強会ニュース

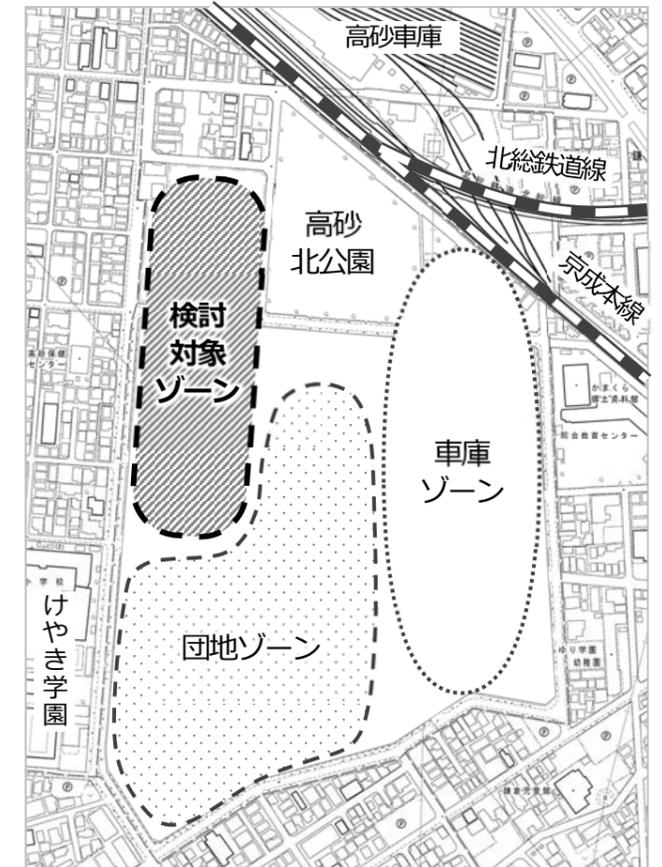
第 3 号 平成 29 年 3 月

## 高砂団地の建替えに伴う創出用地に必要な機能について話し合っています

### ■ 平成 28 年度第 2 回勉強会

平成 28 年度第 2 回勉強会は、24 名が参加して平成 28 年 12 月 19 日に開催しました。

勉強会では他の地区における創出用地の事例について改めて説明があり、10 月に実施した事例視察も参考にしながら創出用地に必要な機能について、2 つのグループに分かれて話し合いを行いました。話し合った内容はそれぞれのグループの代表が発表し内容を確認しました。



グループの代表による発表 (第 2 回勉強会)

### ■ 平成 28 年度第 3 回勉強会

平成 28 年度第 3 回勉強会は、19 名が参加して平成 29 年 2 月 23 日に開催しました。

第 2 回勉強会で話し合った創出用地に必要な機能を元に、商業、サービス、交流、子育て支援、医療、居住の 6 つの機能に分けて、過去の歴史と現在の状況や将来、その機能が必要になると考えた理由等について、2 班に分かれてワークショップを行いました。



ワークショップの様子 (第 3 回勉強会)

# 勉強会で意見が出た 創出用地に必要な機能

これは、平成 28 年度第 3 回までのワークショップ参加者の意見を整理し、中間段階のまとめ（案）として作成したもので、完成ではありません。この中間まとめ（案）をより良いものにしていくために、来年度も引き続き、ワークショップや事例視察をとおして創出用地のまちづくりについての検討を続ける予定です。

## 必要な施設、欲しい施設

## 必要な施設や欲しい施設の理由、その他の意見

商業

- ・ショッピングモール
- ・ファミリーレストラン
- ・小規模なスーパー
- ・産直施設
- ・コンビニ



医療

- ・診療所
- ・病院
- ・小児科
- ・リハビリ病院



サービス

- ・郵便局
- ・フィットネスクラブ、スポーツジム



居住

- ・若い人が住むマンション



子育て・福祉・交流

- ・バスケットができる体育館
- ・スーパー銭湯
- ・温浴施設
- ・バス停、コミュニティバス
- ・床屋
- ・高級ヘアサロン
- ・ドッグラン
- ・文化センター、ホール



- ・保育所
- ・児童館
- ・子育て世代が交流する場所
- ・特別養護老人ホーム
- ・交番
- ・高砂の新旧住民をなじませる交流施設
- ・世代間交流の拠点



- ・一度に用が済む施設が良い。スーパーやクリニック、飲食店、スポーツジムが入っているショッピングモールがあると便利。コンビニだけでは、品揃え的に不足するので。
- ・モールや産直施設のようなものがあると、人が集まってきて賑わいが生まれる。
- ・大型店は土日だけ車や人が集まって混雑するためあまり好ましくない。
- ・創出用地には必要最小限の商業施設でよく、商店街と競合して互いに魅力を高めてほしい。
- ・人が来たときや、子ども連れなどで行きやすい飲食店が少ない。
- ・北公園などの公園と融合した店舗があると魅力的になる。



建物解体が進む創出用地（平成 29 年 3 月撮影）

- ・新住民ともともと住んでいる人とが仲良くできるような仕掛けがほしい。
- ・世代間交流の接点となる機能があると良い。
- ・中高生が学校以外で趣味活動ができる場所があると良い（料理など）。

- ・現在団地にある郵便局がなくなると、駅北口か鎌倉まで行かねばならずとても不便になるため、この地区に必要である。
- ・若者がバスケットを楽しむ場所が不足している。
- ・ドッグランは区内に少ない。飼い主同士の交流にもなる。
- ・鎌倉地区から高砂駅までの交通利便性を確保する必要がある。
- ・まちの魅力アップのために、緑や公園、防災機能も必要。

- ・マンションができれば若い世代を呼び込み、まちが活性化する。
- ・大規模に開発できる場所なので、創出用地に戸建て住宅は作らない方がよい。
- ・駅近くにも居住機能を増やした方がよい。
- ・緑がたくさんあったり、実のなる木があったりするような、ウォーキングするのが楽しくなる景観づくりをすべき。
- ・駅周辺が魅力的なら若い人は住みたくなる。

- ・高砂地域には小児科が少ない。
- ・総合病院だけでなく、かかりつけ医となる診療所が必要。今後、高齢者が増えると訪問診療のニーズも高まる。

- ・若い世代に住んでもらいたいのであれば、保育所は必須である。
- ・子育ての相談や情報交換ができるような、子育て世代が交流できる場所があるとよい。
- ・特別養護老人ホームには待機者が多いため、創出用地を活かして整備すべき。

商業

サービス

医療

居住

子育て支援

福祉

交流